

# 鳥取県森林クラウドシステムへのサイバー攻撃について

令和3年12月17日

林政企画課

民間事業者が提供するクラウドサービスを活用し、運用している「鳥取県森林クラウドシステム」がサイバー攻撃を受け、システム内に格納していた電子ファイルが破損（暗号化）されるセキュリティインシデント（セキュリティにおける事故）の発生が、令和3年12月15日に判明したので報告します。現在、原因究明中です。

## 1 鳥取県森林クラウドシステムの概要

県、市町村（17市町）、県内林業事業者等（14団体）で森林情報を共有するためのシステムで、県が外部事業者に委託して平成29年度にシステム構築し、平成30年度からシステム運用している。

## 2 委託先

パシフィックコンサルタンツ株式会社（本社：東京都）

## 3 サイバー攻撃による被害状況等

外部事業者が管理するサーバがサイバー攻撃を受け、格納されていた森林簿・森林計画図等の電子ファイル（約4万件）が破損したもの（※詳細な被害状況については、調査中。原本ファイルは別に保管しているため、復旧は可能）。

## 4 現在の対応状況

○12月15日付けで被害拡大防止のため鳥取県森林クラウドシステムの運用を全面停止した。

○委託先で内部調査を進めており、12月16日付けで同社が専門外部業者に依頼し、詳細な調査を開始した。